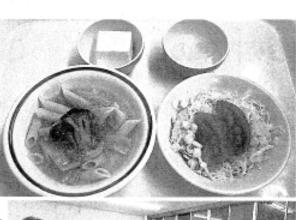
## 地球に体に「ヤサシイごはん」

## 学内食堂で提供 岩手大生がメニュー考案

## 豆乳トマトペンネセット



する学生たち=岩手大学 肉を食べない日」

献しようと、岩手大学の次世 事のあり方を考え、SDGs (持続可能な開発目標)に實 地球環境や体にやさしい食 供する試みを始めた。27日ま 食堂で期間限定メニューを提 センターの学生了人が学内の 代アグリイノベーション研究

きる。

で一般市民も味わうことがで

い」という理念を踏まえ、新 が掲げる「誰一人取り残さな 体制でスタート。気候変動に 会の課題解決に取り組んでい 趙応する農業技術の開発や温 三効果ガスの排出削減など社 センターは今春、SDGs

の日」だった。 減を掲げた「ヤサシイごはん ジェクトを募集。採択された ひとつが肉食の環境負荷の軽 はSDGS達成に向けたプロ 活動の一環として、学生に

広い農地が必要で、地球環境 が必要になる。肉の生産には ロコシ換算で牛は11歳の穀物 140を生産するには、トウモ 農林水産省によると、肉類

(小幡淳一

消費を抑えれば、飢餓に苦. に大きな負荷を掛けている。 む人々に水や穀物を届けるこ

SDGs貢献へ 肉食の環境負荷軽減めざす

い、料理の試作を重ね、 ら、あえて「肉を食べない 向けて欲しいという思いか ューを完成させた。 乳を使うかどうかなど話し合 日」を作ろうと提案。卵や牛 学生たちは地球環境に目を

えるようになった」と話 ていける仕事に就きたいと者 でき、将来、農業にふれ合っ で40食ずつ提供する。 には農学部と理工学部の食堂 る。税込み500円で、27日 し、野菜たっぷりで体が温ま は酸味とまろやかさが調和 食の大切さを考えることが メンバーの岡本侑花さんは メインの豆乳トマトベンネ ともできる。

※朝日新聞令和4年10月27日付/21面 承諾番号22-3160

※この記事は朝日新聞社の許諾を得て転載しています。

※無断転載・複写を禁じます